



特別企画

舞台屏「響流光韻」(藤の間)

第8回 京都迎賓館文化サロン～きりかね 截金～



第8回のテーマは「截金(きりかね)」です。截金とは、金箔や銀色のプラチナ箔を4～6枚ほど焼き合わせて、厚みをもたせた「合わせ箔」を、竹で作った刀で細く糸のように、あるいは丸や三角、四角などに載(き)ったものを、両手に持った二本の筆を用いて貼りつなぎ様々な文様を創り出す高度な技量と集中力を要する伝統的な装飾技法です。截金は飛鳥時代に仏教とともに大陸から伝わり、主に仏像、仏画の荘厳にふさわしい技法として発展してきました。今では日本にのみ伝承されている希少な伝統技法です。

日本の伝統技法を感じることができる貴重な機会となりますので是非ご参加ください。

令和5年8月31日(木)

午前の部 9:25集合 10:00開始 12:40終了

午後の部 13:25集合 14:00開始 16:40終了

定員 各部60名(計120名)

参加費用 一般：5,000円
大学生・専門学生：3,000円
中高生：2,000円

※小学生以下の方の申込みはできません。
※有効期間内の身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳もしくは被爆者健康手帳またはMIRAIOをお持ちの方と介護者(1名まで)は、無料となります。
※中高生または大学生の方は、参観当日に必ず受付で生徒手帳又は学生証をご提示ください。

集合場所 京都御苑内 清和院休憩所

申込方法 京都迎賓館ホームページにおいて先着順で事前予約を受け付けます。
(<https://form.geihinkan.go.jp/entry/P01?lang=ja&place=kyoto>)

※ 京都迎賓館HPのお知らせをご確認ください。

企画協力 公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー

開催内容

- 舞台屏「響流光韻」及び欄間「日月」の截金について、江里朋子氏による講演
- 江里佐代子氏及び講師・江里朋子氏の作品の展示
- 首脳会談等を開催する通常非公開の「水明の間」を含めた館内スタッフによるガイドツアー

講師

江里 朋子 氏

昭和47年京都府生まれ。
平成3年京都芸術短期大学(現：京都芸術大学)日本画専攻卒業後、京都迎賓館の舞台屏(「藤の間」)や欄間(「桐の間」)等の截金を制作された母・江里佐代子氏に截金を習い始める。
平成23年に第58回日本伝統工芸展で截金飾箱「皓華(こうげ)」が日本工芸会新人賞を受賞、令和2年に第38回京都府文化賞奨励賞を受賞した。



国公賓等の接遇その他迎賓館の運営上の都合により中止することがありますが、その際は京都迎賓館HPでお知らせします。